

令和8(2026)年度

「運営に関する計画」

大阪市立城北小学校

令和8(2026)年4月

大阪市立城北小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校は、子ども一人ひとりが輝く魅力ある学校にするために、学校教育目標を「心豊かで自ら学びたくましく生き抜く子どもの育成」とし、めざす子ども像をはじめ以下を共通理解し、「なかまづくり・人権教育」「学力向上」「子どもの安心した居場所づくり」を3つの柱として人権教育を中心とした教育実践を積み上げてきている。

学校教育目標

心豊かで自ら学びたくましく生き抜く子どもの育成

めざす子ども像

心やさしく、思いやりのある子ども

- ・自分や相手の気持ちに気づき、思いやりをもって関わるができる。
- ・人の話を大切に聞き、多様な立場や考えを認め合いながら関係を築くことができる。
- ・周囲の人のために考え、進んで行動しようとするができる。

よく考え、ともに高めあう子ども

- ・自ら興味や疑問をもち、学ぶことを楽しむことができる。
- ・自分で考え、話し合い等を通して学びを深めることができる。
- ・自分のよさや課題を理解し、学び方を工夫することができる。

体を鍛え、粘り強くやり抜く子ども

- ・運動に親しみ、自分の心と体を整えようとするができる。
- ・困難や失敗に直面しても、あきらめずに向き合うことができる。
- ・経験や学びを生かしてよりよい行動を判断し、他者と協力することができる。

めざす学校像

☆子どもたちの笑顔と意欲があふれる学校

めざす教師像

- ☆学校教育目標の実現に向け、和をもって協働しあえる教師
- ☆一人ひとりの良さを伸ばし、知的好奇心を高め、「学ぶ授業」を実践する教師
- ☆保護者、地域と連携し、よりよい学びの場を創造し信頼される教師

【前年度までの3つの最重要目標から見た現状と課題】

① 「安全・安心な教育の推進」

令和7年度小学校学力経年調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」の質問に対し、肯定的に回答した児童の割合は、目標値85%に対して77.9%であった。一方、全学年を対象に実施した6月の第1回学校アンケートでは86.8%、1月の第2回学校アンケートでは91.6%となり、一定の成果が見られた。

また、令和7年度は「和みルーム」の開設等、「こどもの安心した居場所づくり」を教育活動の柱に位置付け、児童への支援を進めてきた。その結果、完全不登校児童を解消することができた。今後も、子どもや保護者にとって魅力ある教育活動のさらなる深化・充実に取り組む必要がある。

校内調査の「学校のきまりを守っていますか」という質問では、肯定的回答の割合は目標値92%に対して90.5%であった。目標にはわずかに届かなかったものの、生活指導部会を月1回実施し、学校のきまりに関する共通理解の形成や、各学級の児童の実態・問題行動を全体で共有し、組織的な指導につなげたことにより、一定の成果が確認できた。

令和7年度小学校学力経年調査の「自分にはよいところがあると思いますか」という質問では、肯定的回答の割合は目標値80%に対して77.2%で、前年比2.7%減(人数にして4人未満の減)となった。目標には届かなかったものの、各学級における「いいところみつけ」や、縦割り班活動を中心とした異年齢交流の活性化、多文化共生教育をはじめとする人権教育の取組により、多様な立場や考え方を認め合い、互いを尊重する土壌は着実に育まれている。

今年度も、児童の安全・安心な教育の推進に向け、子どもたちがいきいきと活動し、自尊感情を高める取組の一層の充実を図る。不登校傾向の児童への支援については継続的に取り組んでいるものの、状況の改善には至っておらず、引き続き関係機関との緊密な連携が不可欠である。

また、学習や体験を通して意識の向上は見られるものの、日常生活における言葉遣いや行動としての定着には課題が残っている。今後は、学年ごとの裁量に依存している異年齢交流について、年間計画の策定による体系化を図るとともに、児童会を中心とした主体的な発信の一層の充実が求められる。

② 「未来を切り拓く学力・体力の向上」

本校では、「話し合い活動を通して、自分の考えを広げ、深める児童の育成」を研究テーマとし、国語科を中心に授業改善に取り組んできた。具体的には、「①文章を正確に読み取るための工夫」「②自分の考えを書くための工夫」「③考えを深める話し合いの工夫」の3つの視点から実践を積み重ねてきた。

さらに、大阪市教育委員会の「学力向上支援チーム事業」において、スクールアドバイザーから校内研修の計画・立案・実施や若手教員の育成、授業改善に関する指導助言を受けたことや年間6回以上の授業研究会及び校内研修、全教員による公開授業を実施したことで、授業改善に向けた組織的な取組が着実に進み、教員の指導力向上が図られ一定の成果が得られた。

令和7年度小学校学力経年調査における「学級の友達との話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができていますか」という質問について、最も肯定的な「思う」と回答した児童の割合は、目標45%に対して38.2%となり、目標を達成することができなかった。一方で、肯定的回答の合計は75.2%となり、一定の成果は得ることができた。前年度との比較においても、児童の学習意識の改善が確認できた。

小学校学力経年調査における国語の平均正答率については、同一母集団での対全国比を経年的に比較し、全学年で前年度より0.03ポイント向上させることを目標としたが、6年生は0.1ポイント減、5年生は増減なし、4年生は0.02ポイント増にとどまり、目標を達成することはできなかった。一方で、対市平均では、5年生が1.09、4年生が1.02と、いずれも市平均を上回る結果となった。

英語教育においては、C-NETとの連携や6年生による出張モジュール授業を通して、3年生の肯定率が96.9%に達するなど、英語に親しむ環境づくりが成果を上げている。体力面においても、なわとび週間や放課後の校庭開放により、運動の楽しさを味わう機会が広がった。一方で、学力経年調査の結果は依然として改善の途上にある。特に、「友達との話し合いを通して考えを深める実感」をもたせる指導や、基礎・基本の定着に向けた個に応じた支援の一層の充実が求められる。

運動面では、強調週間後の意欲の持続が難しく、自発的な運動習慣の形成が課題である。生

活習慣については、「健康強調週間」により校内の意識は高まったものの、就寝時刻等は家庭環境の影響が大きい。今後は、保護者への継続的な啓発と連携の強化が重要である。

③「学びを支える教育環境の充実」

デジタル教材の活用については、デジタル教科書等を用いた授業を日常的に実施するとともに、学年の実態に応じて一人一台端末の活用の充実を図ってきた。また、朝学習や授業の隙間時間において、デジタルドリルやタイピングソフトの活用も進めてきた。さらに、登校後すぐに行うスクールライフノート「心の天気」の入力についても習慣化が進み、児童が学習者用端末を活用する場面が日常的に見られるようになってきている。その結果、端末の平均使用率は80%を超えた。

「授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数を年間授業日の50%以上にする」の目標についても、令和8(2026)年2月末時点で59.7%となり、目標を達成することができた。

教職員の働き方に関しては、教職員アンケート「働きがいを感じながら、安心して教育活動を進められている」において、肯定的に回答する教職員の割合を84%以上とする目標を挙げ、働き方改革の取組を推進した。具体的には、下校時刻の見直しや会議の精査を行い、年間58日の5時間以下下校を実現した。これにより、教材研究や児童と向き合う時間の確保が図られた。その結果、教職員の働きがいに関する肯定的な回答は100%に達し、取組の有効性が明確に示された。

また、学校図書館においては、司書との連携による多様な読書指導や週4日の開放により、特に低学年の読書意欲の向上が見られた。さらに、地域連携においては、「はぐくみネット」や老人会等との多層的な協働活動を通して、保護者や地域からの信頼を高めることができた。

一方で、端末活用は校内において定着してきたものの、家庭への持ち帰り学習の具体化や、学校における活用とのバランスの最適化が課題として残る。読書活動については、高学年において肯定率の低下傾向が見られることから、「味見読書」などの手法を活用し、多様なジャンルへの興味・関心を喚起するとともに、デジタル端末と図書を目的に応じて使い分ける力の育成が求められる。また、地域連携活動については、これまでの取組を基盤としつつ、児童が地域の一員としての自覚をより主体的に深めることができるよう、継続的かつ発展的な関わりの充実を図ることが今後の課題である。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和11年度の第2回学校アンケート「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を92%以上にする。(R7 第1回学校アンケート86.8% 第2回学校アンケート91.6%)
- 令和11年度全国学力・学習状況調査「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする (R7 資料なし)
- 令和11年度本市調査[いじめ対応に係る「振り返りチェックシート」]「『大阪市いじめ対策基本方針』に基づいたいじめの対応を行っている」と回答する教員の割合を100%にする。(R7 資料なし)
- 令和11年度本市調査[児童虐待防止に関わる研修「研修受講シート」]「児童虐待を発見したり、疑いがある際には、ためらうことなく必ず通告を行いますか。」に対して、「はい」と回答する教員等の割合を100%にする。(R7 資料なし)

- 令和11年度の第2回学校アンケート「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、88%以上にする。(R7 第1回学校アンケート 82.6% 第2回学校アンケート 85.5%)
- 令和11年度の第2回学校アンケート「学校では、命を大切にし、人権を尊重する心と態度を育てるための学ぶ機会が多くある」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする。(R7 93.9%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和11年度小学校学力経年調査の国語科における標準化得点をいずれの学年も100以上にする。(R7 3年99.5 4年100.6 5年103.4 6年93.9)
- 令和11年度小学校学力経年調査におけるボリュームゾーンにあたる層の変化率(国語)を1.0%以上向上させる。(R6年度末 大阪市-0.20%)
- 令和11年度小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。(R7 75.2%)
- 令和11年度年間2回行う学校アンケートにおける「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きだ」に対して、肯定的な「好き」と回答する児童の平均割合を92%以上にする。(R7 第1回学校アンケート87.6% 第2回学校アンケート90.8% 平均値89.2%)
- 小学校学力経年調査における「規則正しい生活(「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」)が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。(R7小学校学力経年調査の「毎日同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きていますか」69.8%)

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和8年度小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を75%以上にする。(R7 実績なし)
- 令和11年度の教員1か月あたりの平均時間外勤務時間を令和7年度より2時間削減する。(R7 23時間10分)
- 令和11年度の第2回学校アンケート「読書(本を読んだり、読んでもらったりする)は好きですか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。(R7 第1回学校アンケート80.7% 第2回学校アンケート77.9%)
- 令和11年度小学校学力経年調査「学校図書館や学級文庫、読書コーナーなど、学校内にあなたの読みたい本がありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を50%以上にする。(R7 実績なし)

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和8年度の第2回学校アンケート「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を92%以上にする。(R7 第1回学校アンケート86.8% 第2回学校アンケート91.6%)
- 令和8年度小学校学力経年調査「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする (R7 資料なし)
- 令和8年度本市調査「いじめ対応に係る「振り返りチェックシート」」「『大阪市いじめ対策基本方針』に基づいたいじめの対応を行っている」と回答する教員の割合を100%にする。(R7 資料なし)
- 令和8年度本市調査「児童虐待防止に関わる研修「研修受講シート」」「児童虐待を発見したり、疑いがある際には、ためらうことなく必ず通告を行いますか。」に対して、「はい」と回答する教員等の割合を100%にする。(R7 資料なし)
- 令和8年度の第2回学校アンケート「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、85%以上にする。(R7 第1回学校アンケート 82.6% 第2回学校アンケート 85.5%)
- 令和8年度の第2回学校アンケート「学校では、命を大切に、人権を尊重する心と態度を育てるための学ぶ機会が多くある」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を令和7年度を上回る。(R7 93.9%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和8年度小学校学力経年調査の国語科における標準化得点を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も令和7年度より上回る。
(R7 3年99.5 4年100.6 5年103.4 (参考)6年93.9)
- 令和8年度小学校学力経年調査におけるボリュームゾーンにあたる層の変化率(国語)を0.1%以上向上させる。(R6年度末 大阪市-0.20%)
- 令和8年度小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を76%以上にする。(R7 75.2%)
- 令和8年度年間2回行う学校アンケートにおける「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きだ」に対して、肯定的な「好き」と回答する児童の平均割合を88%以上にする。(R7 第1回学校アンケート87.6% 第2回学校アンケート90.8%)
- 小学校学力経年調査における「規則正しい生活(「朝食を毎日食べる」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」)が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。(R7小学校学力経年調査の「毎日同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きていますか」69.8%)

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和8年度小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を60%以上にする。

- 令和8年度の教員1か月あたりの平均時間外勤務時間を令和7年度より削減する。(R7 23時間10分)
- 令和8年度の第2回学校アンケート「読書(本を読んだり、読んでもらったりする)は好きですか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。(R7 第1回学校アンケート80.7% 第2回学校アンケート77.9%)
- 令和8年度小学校学力経年調査「学校図書館や学級文庫、読書コーナーなど、学校内にあなたの読みたい本がありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を40%以上にする。(R7 実績なし)

3 本年度の自己評価結果の総括

【安全・安心な教育の推進】

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

【学びを支える教育環境の充実】

大阪市立城北小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和8年度の第2回学校アンケート「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を92%以上にする。(R7 第1回学校アンケート86.8% 第2回学校アンケート91.6%) 令和8年度小学校学力経年調査「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする (R7 資料なし) 令和8年度本市調査[いじめ対応に係る「振り返りチェックシート」]「『大阪市いじめ対策基本方針』に基づいたいじめの対応を行っている」と回答する教員の割合を100%にする。(R7 資料なし) 令和8年度本市調査[児童虐待防止に関わる研修「研修受講シート」]「児童虐待を発見したり、疑いがある際には、ためらうことなく必ず通告を行いますか。」に対して、「はい」と回答する教員等の割合を100%にする。(R7 資料なし) 令和8年度の第2回学校アンケート「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、85%以上にする。(R7 第1回学校アンケート 82.6% 第2回学校アンケート 85.5%) 令和8年度の第2回学校アンケート「学校では、命を大切にし、人権を尊重する心と態度を育てるための学ぶ機会が多くある」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を令和7年度を上回る。(R7 93.9%) 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
.	
今後の取組と次年度への改善点等	
.	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
<p>取組内容①【基本的な方向1、安心安全な教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童が先生や学校にいる大人にいつでも相談しやすい環境を整えるための取組を行う。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> いじめ対策委員会を学期に1回実施する。 生活指導部会を月1回実施し、課題の共有と対応策の検討を行う。 「心の天気」の入力を毎日実施し、児童の状況把握に努める。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
.	
今後の取組と次年度への改善点等	
.	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
取組内容②【基本的な方向1、安心安全な教育環境の実現】 <ul style="list-style-type: none"> 児童が互いに認め合い、好ましい人間関係を確立できるように集団づくりを行う。 	
指標 <ul style="list-style-type: none"> 全学年が異年齢交流の場を学期に1回以上設定する。 全校であいさつ週間を設け、児童会を中心にあいさつの啓発(取組・よびかけ)を行う。 学級活動等を通して、互いのよさを認め合う活動を学期に1回実施する。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
今後の取組と次年度への改善点等 <ul style="list-style-type: none"> 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
取組内容③【基本的な方向1、安心安全な教育環境の実現】 <ul style="list-style-type: none"> 「防災・減災教育カリキュラム」「安全対策マニュアル」「安全(防災)基本計画」に基づいて、非常災害時に備えた防災訓練・防災学習を実施する。 	
指標 <ul style="list-style-type: none"> 年間を通して、通常の避難訓練や幼小保連携した合同避難訓練を年3回以上行う。 保護者や地域、区役所、消防署などと連携した「防災学習」を年1回実施する。 学校アンケート「自分の身を守る行動が分かる」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
今後の取組と次年度への改善点等	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
取組内容④【基本的な方向2、豊かな心の育成】 <ul style="list-style-type: none"> 人権課題に対する正しい理解を深めるために、児童の実態に応じた系統的な人権教育を実践する。 	
指標 <ul style="list-style-type: none"> 教職員が豊かな人権感覚を養うために、外部の人権教育研修に2回以上参加する。 児童理解研修や、スクリーニング会議を実施し、虐待対応に関する教職員の共通理解を図る。 人権教育に関する取組や出前授業、ゲストティーチャー等の招へいを各学年で年に1回以上実施する。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
今後の取組と次年度への改善点等	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
取組内容⑤【基本的な方向2、豊かな心の育成】 <ul style="list-style-type: none"> • 豊かな感性を養うために体験学習および芸術鑑賞を実施する。 • 子ども達のキャリア形成を図るために企業や団体、区役所との連携による学習活動を行う。 	
指標 <ul style="list-style-type: none"> • 全学年を対象とした芸術鑑賞を年に1回以上実施する。 • 出前授業やゲストティーチャーを招へいた学習や社会見学等の体験的な学習を各学年で年に1回以上行う。 • 自己の成長を振り返ることができるようなワークシートを作成し、年間2枚以上キャリアパスポートに綴じる。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
今後の取組と次年度への改善点等	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
取組内容⑥【基本的な方向2、豊かな心の育成】 <ul style="list-style-type: none"> • 様々な言語や文化に触れる機会を創出し、多様性を尊重する態度の育成を図る。 	
指標 <ul style="list-style-type: none"> • 外国につながるのある子どもたちのつどいである多文化学級を年2回以上実施する。 • 多様な文化や言語に触れる学習を、各学年で年1回以上実施する。 • 外国語でのあいさつ週間を、学期に1回実施する。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
今後の取組と次年度への改善点等	

大阪市立城北小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和8年度小学校学力経年調査の国語科における標準化得点を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も令和7年度より上回る。 (R7 3年99.5 4年100.6 5年103.4 (参考)6年93.9) 令和8年度小学校学力経年調査におけるボリュームゾーンにあたる層の変化率(国語)を0.1%以上向上させる。(R6年度末 大阪市-0.20%) 令和8年度小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を76%以上にする。(R7 75.2%) 令和8年度年間2回行う学校アンケートにおける「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きだ」に対して、肯定的な「好き」と回答する児童の平均割合を88%以上にする。(R7 第1回学校アンケート87.6% 第2回学校アンケート90.8%) 小学校学力経年調査における「規則正しい生活(「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」)が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。(R7小学校学力経年調査の「毎日同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きていますか」69.8%) 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
今後の取組と次年度への改善点等	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
<p>取組内容①【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「主体的・対話的で深い学び」の授業を計画的に実施する。 前年度の児童の学力の実態をふまえて、基礎基本の定着や、学力の向上を図るために、ティーチングエンパワーメント事業を活用し教員の指導力を高める。 児童の学力向上のために学年に応じた取組を実施する。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 全教員が校内における公開授業を年に1回行う。 「主体的・対話的で深い学び」の校内授業研究会を年に6回以上行う。 年6回の校内授業研究会を通して、国語科を中心に授業改善を行い、学級の友達と話し合う活動を取り入れる。 基礎基本の定着や学力向上に向けた朝学習や自主学習などを週に1回行う。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
今後の取組と次年度への改善点等	

--

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
取組内容②【基本的な方向5、健やかな体の育成】 <ul style="list-style-type: none"> • 体育研修の充実を図り、教員の体育指導力を向上させる。 • 児童の体力や意欲向上のための取組を実施する。 	
指標 <ul style="list-style-type: none"> • 教員を対象とした体育研修会を年に3回以上実施する。 • なわとび等の運動強調週間を年に3回以上実施する。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
今後の取組と次年度への改善点等	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
取組内容③【基本的な方向5、健やかな体の育成】 <ul style="list-style-type: none"> • 子どもの発達に応じた健康に関する指導を進める。 • 健康教育、食育の推進に向けた取組を行う。 	
指標 <ul style="list-style-type: none"> • 早寝・早起き・朝ごはんに関する健康強調週間を年1回以上実施する。 • 栄養や食事のとり方などについて正しい知識を身につける指導を年に2回実施する。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
今後の取組と次年度への改善点等	

大阪市立城北小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【学びを支える教育環境の充実】 <ul style="list-style-type: none"> 令和8年度小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を60%以上にする。 令和8年度の教員1か月あたりの平均時間外勤務時間を令和7年度より削減する。(R7 23時間10分) 令和8年度の第2回学校アンケート「読書(本を読んだり、読んでもらったりする)は好きですか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。(R7 第1回学校アンケート80.7% 第2回学校アンケート77.9%) 令和8年度小学校学力経年調査「学校図書館や学級文庫、読書コーナーなど、学校内にあなたの読みたい本がありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を40%以上にする。(R7 実績なし) 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
今後の取組と次年度への改善点等	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
取組内容①【基本的な方向6、教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】 <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが学習者用端末を適切に活用できる環境づくりに取り組む。 	
指標 <ul style="list-style-type: none"> 情報モラル教育を年1回以上実施する。 ICTを活用した教員の指導力向上のため、ICTに関する研修会を学期に1回実施する。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
今後の取組と次年度への改善点等	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
取組内容②【基本的な方向7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 <ul style="list-style-type: none"> 子どもたち一人一人に向き合う時間を確保することができ、教育活動で専門性を十分に発揮できるよう「学び続ける教員」を支える環境づくりを行う。 特定の教職員に業務が偏らないように、業務分担の適正化と協力体制の整備を行う。 	

指標 <ul style="list-style-type: none"> ゆとりの日を週に1回、研究の日を月に1回設定する。 教職員アンケート「働きがいを感じながら、安心して教育活動を進められている」に対して、肯定的に回答する教職員の割合を83%以上にする。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
今後の取組と次年度への改善点等	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
取組内容③【基本的な方向8、生涯学習の支援】 <ul style="list-style-type: none"> 学校図書館や学級文庫の活用を通して、読書活動の活性化に向けた取組を計画的に実施する。 	
指標 <ul style="list-style-type: none"> 各学年で学校図書館やその蔵書を活用した学習活動を学期に1回以上行う。 児童の興味関心・知的好奇心に応える蔵書構成を実現するため、読書ニーズ調査を年1回以上実施する。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
今後の取組と次年度への改善点等	